



# 年頭の挨拶

あけましておめでとうございます。

平成30年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

高橋会長はじめ公益社団法人岩手県トラック協会会員の皆様には、日頃から国土交通行政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、貴協会におかれましては、輸送秩序確立、事故防止、環境保全活動に積極的に取り組み、公益性を持った活動を展開され、地域社会への貢献と業界の発展に尽力されておりますことに、改めて敬意を表する次第であります。

さて、岩手県の経済情勢は、今年になり「個人消費と生産活動に足踏みがみられる」から「緩やかに改善している」に変わり、「雇用情勢は引き続き改善している」となっております。一般貨物運送事業者数及び車両数は平成29年10月現在で796者14,943両と、事業者数及び車両数とも震災以降、横ばいもしくは微増傾向は続いており、復興の原動力となる物流の中心事業として重要な役割を担っていると思料するところです。

しかしながら、トラック業界を取り巻く環境は、燃料価格は一時期に比べれば低い水準で推移しているところですが、大消費地まで運行する長時間労働の削減課題に追い打ちをかける運転者不足が顕著で、依然として厳しい状況が続いていると認識しております。

また、再配達の常態化による宅配業者の過重労働問題や運賃の適正化問題も発生し、トラック業界は新しい時代への転機を迎えつつあります。

国土交通省では、長時間労働抑制実現に向けた「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」を中央及び各県に設置し、改善に向けた取組を進めており、今般、標準貨物自動車運送約款等の改正、荷主勧告制度の強化等を行う等、環境改善に向けて様々な施策を進めております。

また、「事業用自動車総合安全プラン2009」を策定し、「死者数及び人身事故件数の半減、飲酒運転根絶」を目標に掲げ、事故の削減に総力を挙げて取り組んで参りました。策定から8年目を迎え、自動車事故をめぐる状況の変化等により新たなプランについて検討を行って参りましたが、今年6月に2020年までを計画期間とする「事業用自動車総合安全プラン2020」を新たに策定したところでございます。

皆様におかれましては、本プランの目標達成に向けて、事業の根幹であります「輸送の安全」がおろそかにならないよう、一人ひとりの安全意識の高揚に努め、引き続き、安全確保と事故防止にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

今後、岩手運輸支局といたしまして「輸送の安全・安心の確保」を実現するため、「トラック輸送における取引環境・労働時間改善岩手県協議会」における労働環境改善の取組を進めるとともに、安全対策や事故防止、環境対策、ドライバー不足対策などの各種施策についても、貴協会をはじめ、関係機関・関係団体との連携を強化しながら、積極的に取り組んで参りますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

おわりに、公益社団法人岩手県トラック協会と会員皆様方の益々のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



東北運輸局 岩手運輸支局  
支局長 結城 晃